２　児童アンケート・保護者アンケートによる評価

(1) 児童アンケートによる調査結果

令和４年度　学校教育活動等に関する児童アンケート調査
実施時期:令和４年度１２月　　調査対象児童１７９名中１７４名回答　回答率９７．２％

＜評価＞　※Ａ～Ｄの数字は人数
Ａ:よくあてはまる（４点）　Ｂ:だいたいあてはまる（３点）
Ｃ:あまりあてはまらない（２点）　Ｄ:全くあてはまらない（１点）

	内　　容	A	B	C	D	評価点		比較
						２学期	１学期	±
1	学校が楽しいですか。	107	47	10	10	３．４	３．４	±0
2	みんなに優しくできていますか。	89	76	5	4	３．４	３．５	−0.1
3	あなたのクラスでは、みんなが仲良く、協力できていますか。	83	75	11	5	３．４	３．３	+0.1
4	「あったか言葉」のキャッチボールができていますか。(「ありがとう」「だいじょうぶ」「手伝うよ」などの言葉)	106	57	8	3	３．５	３．５	±0
5	授業は分かりやすく、楽しいですか。	87	70	11	6	３．４	３．３	+0.1
6	宿題など、家でていねいに勉強していますか。	80	75	17	2	３．３	３．３	±0
7	先生や友達の話をよく聞いていますか。	107	60	4	3	３．６	３．５	+0.1
8	自分の考えや思ったことを発表できていますか。	65	62	40	7	３．１	３．０	+0.1
9	気持ちのよいあいさつや「はいっ」の返事ができていますか。	86	60	24	4	３．３	３．３	±0
10	外で元気よく遊んだり、運動したりしていますか。	113	37	19	5	３．５	３．５	±0
11	「早ね、早おき、朝ごはん」ができていますか。	72	76	17	9	３．２	３．２	±0
12	先生たちは、あなたの話をよく聞いてくれますか。	128	36	8	2	３．７	３．６	+0.1
13	だまって掃除をすることができましたか。	93	62	16	3	３．４	３．５	−0.1
14	くつやトイレのスリッパをそろえていますか。	131	34	5	4	３．７	３．７	±0
15	わすれものをしないように気をつけていますか。	98	61	12	3	３．５	３．５	±0
16	学校であった話をおうちの人にしていますか。	99	45	21	9	３．３	３．３	±0
17	地域の人やお家の人といっしょに活動できることはうれしいですか。	112	51	7	4	３．６	３．６	±0

(2) 保護者アンケートによる調査結果　令和４年１２月

調査対象 179 名中 153～155 名回答　回答率約 85.9％

＜評価＞A：よくあてはまる（４点）　B：だいたいあてはまる（３点）

C：あまりあてはまらない（２点）　D：全くあてはまらない（１点）　※数字は人数

	内　容	A	B	C	D	評価点		比較
						２学期	１学期	±
1	お子さんは、学校に行くのが楽しいと言っている。	41	95	18	2	３．１	３．３	−0.2
2	お子さんは、みんなに優しくしている。	40	109	5	0	３．２	３．３	±0
3	お子さんのクラスでは、みんなが仲良く協力できている。	34	107	12	1	３．１	３．１	±0
4	お子さんは、「あったか言葉」のキャッチボールができている。（「ありがとう」「だいじょうぶ」「手伝うよ」など）	31	106	16	2	３．１	３．１	±0
5	お子さんは、授業は分かりやすく、楽しいと言っている。	36	88	28	4	３．０	３．０	±0
6	お子さんは、宿題など、家でていねいに勉強している。	27	84	39	6	２．８	２．９	−0.1
7	お子さんは、漢字力や計算力等の基礎的な学力がアップしている。	34	86	32	4	３．０	３．０	±0
8	お子さんは、気持ちのよい挨拶ができている。	30	89	36	1	２．９	３．０	−0.1
9	お子さんは、外で遊んだり、運動したりしている。	57	56	36	5	３．１	２．９	+0.2
10	お子さんは、「早ね、早おき、朝ごはん」ができている。	56	71	26	3	３．２	３．１	+0.1
11	先生は、児童一人一人をよく理解しようとしている。	68	75	11	1	３．４	３．１	+0.3
12	先生は、保護者の相談に適切に対応している。	74	72	7	1	３．４	３．３	+0.1
13	お子さんは、家で靴やトイレのスリッパをそろえる習慣が身に付いている。	21	58	66	3	２．６	２．５	+0.1
14	お子さんは、忘れものをしないように気を付けている。	45	70	33	7	３．０	２．８	+0.2
15	お子さんと学校であったことを話している。	54	84	14	3	３．２	３．１	+0.1
16	学校はコミュニティー・スクールとして、家庭・地域と連携した教育に努めている。	43	96	13	3	３．２	３．１	+0.1
17	学校は、安全安心な学校づくりに向け、適切な配慮を行っている。（避難訓練、修繕、危険箇所の点検など）	50	99	5	0	３．３	３．１	+0.2
18	学校は、学校・学級便りや各種便り、ホームページ、見守りメール、家庭連絡等、積極的に情報を発信している。	68	81	5	1	３．４	３．４	±0

＜自由記述に寄せられた保護者の意見＞

・先生方にはとてもよくしていただき、感謝でいっぱいです。

・テストでできなかったところをプリントで何度も再テストすることでできるようになったのは、学習知識が定着しているように思えるので続けてほしい。

・学級便りが頻繁にあり、子どもの感想や授業内容を載せてくれており家庭でも学校のことについて話すことが増えた。

・コロナ等に対しても配慮しながら、いろいろな活動に前向きに取り組んでいただけて、親子共々楽しい学校生活が送れた。（マラソン大会、音楽会、自然の家）

・２学期も大変お世話になりありがとうございました。

・お話を聞いていただき、すごく学校で考えていただけたと思います。ありがとうございます。

・クロームブックをお休みしなければならない子がオンライン授業ができるなど、何かもう少し活用できるといいと思う。

(3)　**児童のアンケート結果の考察**　○よい評価点　△児童・保護者間で差が大きい点　●努力点

○　項目５「授業は分かりやすく、楽しい」では、０．１ポイント増加した。ＩＣＴ機器の効果的な活用や、日々の授業改善に取り組んできたことの成果が表れてきたのだと考える。今後も友達とともに学び合うことができる場を工夫し、児童が生き生きと学ぶ授業づくりに取り組む。

○　項目１７のコミュニティー・スクールとしての取組は１学期と同様高い評価であり、児童の学習に良い影響があることが分かった。これからも地域とともにある学校づくりを推進していく。

△　保護者との差が大きいのは項目１３の「くつやスリッパをそろえていますか。」である。毎日、児童玄関で教員が声掛けした結果、児童一人一人の心掛けによって整ってきた。しかし、家庭や地域ではまだ習慣化されていないようであり、今後も家庭と連携して取り組む課題である。

●　項目８「自分の考えや思ったことを発表できていますか。」は、０．１ポイント伸びたが、低い評価点である。休み時間は楽しく会話し、声量もある。しかし、授業や行事、代表委員会等では聞き取れない場合がある。話す・聞く力を育てる視点を明確にして授業に取り組んだり、話す・聞くことを大切にできるよう様々な児童に役割を持たせて活動する場を設けたりして、自信を持って話す児童の育成に努める。

●　項目１１「早ね、早おき、朝ごはんができていますか。」は、１・２学期とも３．２ポイントと評価の中では２番目に低い。家庭との連携を図りながら、基本的な生活習慣の定着に努める必要がある。

●　項目１「学校が楽しいですか。」では、「全くあてはまらない」と回答した児童が１０人いることを重く受け止めている。アンケートや面談の時間を大切にし、これからも児童一人一人の心に寄り添い続ける姿勢をもち、日頃の生活における児童の声に耳を傾け、学校生活をしっかりと支えていく。

(4)　**保護者のアンケート結果の考察**

○　項目１１「先生は、児童一人一人をよく理解しようとしている。」は評価点が伸びた。学校では、小さなことでも見逃さず、指導や支援、面談等を行い、全教職員で児童を育てるという意識で臨んできた。これからも保護者と連携・協力し、児童が安心して学校生活を送ることができるよう努める。

○　項目１６のコミュニティ・スクールの取組では、３．４と高い評価点を得た。学習活動の支援を呼び掛けたところ、多くの保護者や地域の方の参加が得られた。これからも、保護者をはじめ、地域の方とともに多様な学習活動の展開を進め、学習活動を深めていきたい。

○　項目１８の情報発信に関し、１学期同様、高い評価点であった。コロナ禍で学校の様子が分かりにくくなっている今、学校での様子について学校便り、学級便り、各種便り、ＨＰ等を通して可能な限り積極的に発信してきた。また、学びを止めないよう行事を工夫して行い、行事等に参観してもらった。これからも情報発信や、参観の機会を工夫して確保し、学校での様子を発信していきたい。

△　項目６「宿題など、家でていねいに勉強している。」は、児童との間で０．５ポイントと差が大きい。保護者の意見には宿題の量に関する要望もあったが、学年に応じた内容と量をきちんとこなすことを理解してもらいたい。また、家庭学習・生活がんばり週間を活用して学習習慣の定着を図っていく。

●　項目１３「お子さんは、家で靴やトイレのスリッパをそろえる習慣が身に付いている。」は、１学期に比べてやや評価が増えているものの、低い結果である。児童と比べると、評価点の差が大きい。学校では、教職員や児童同士での声掛けにより意識付けを図ってきたが、声掛けが減るとトイレや靴箱の整とんに乱れがある。これからは、学校の取組を学年や学校便り、ホームページを通して家庭への協力を発信するとともに、履物を揃えることが当たり前になるよう定着させていく。

●　項目８「気持ちの良い挨拶ができている。」では、児童との差が０．８ポイントあり、低い評価点である。挨拶や返事の指導や取組を通して、お手本となる児童が増えているが、今後も継続した取組が必要である。

●　学力に関する項目５や項目７では、１学期と同等の評価点である。家庭学習の見届け、chromebookを活用した授業改善など、学習方法の見直しによる学力向上が求められている。また、基礎学力の定着に向け、毎朝のドリルタイムに全校で学びの時間を確保することや、積極的な研究授業を実施してみんなで学び合い、授業改善に生かす取組を実施する等、計画的に学力向上の取組を推進していく。

●　項目１「学校に行くのが楽しいと言っている。」では、１学期よりポイントが下がり、Ｄ「全くあてはまらない」の回答もあった。一人一人の心に寄り添えるよう努めてきたが、十分とは言えない。どんなことでも、丁寧に対応し、児童にとって安全・安心な学校づくりを進める。